

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,000	
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
 - I - 2 地域医療の体制と医師・看護職員を確保する
 - ・医師・看護職員を確保する
- ・保健医療計画
 - 4 - 4 保健医療従事者の確保・養成
 - ・看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

(2) 後年度の財政負担

地域医療介護総合確保基金

(3) 事業主体及びその妥当性

看護人材現任者研修事業は、看護人材の質確保のために必要な施策であり、長期構想でも位置づけた県の役割であるため、主催者として研修会を実施することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県内の看護人材の質の向上、維持のためには職務に対するモチベーション維持が必要であり、キャリアアップの機会を継続的に提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
研修受講者数	(H)	()	()	399人 (R元)	280人 (R3)	142.5%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
教員及び実習指導者等教育者を対象とした研修の実施。（40名程度、4回）
高齢者施設等に勤務する職員等（准看護師メイン）対象とした研修の実施。
（40名程度、2圏域各2回）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
看護教員、実習指導者が他県等、遠方へ出張することなく、最新の教育手法等について学ぶことができる。
高齢者施設や診療所等に勤務する准看護師が、診療所等に勤務する上でニーズの高い分野の専門知識を学ぶことができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県内の看護人材の質の向上、維持のためには職務に対するモチベーション維持が必要であり、キャリアアップの機会を継続的に提供する事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	受講者からは、日ごろの教育活動に役立つ内容であったとの評価を得ている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	令和2年度の看護教育者等継続教育研修事業の実施団体に委託することで、効率的に実施できる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>より良い内容とするためには、学習した内容の実践状況の把握や課題解決へのフォローが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>研修終了後のアンケートを参考に、効果を検証しながら継続を検討 新たに助産師の実践能力向上のため研修を実施し、専門性を発揮することで、地域社会に広く貢献することが可能である。また、助産師の実践能力を向上することで助産師のモチベーションの維持や自信につながり、助産師の人材確保につながる。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	